

# 第18回西日本児童養護施設職員セミナー京都大会

## 開催要綱

〈大会テーマ〉

温故知新～故きを温ねて新しきを知る～

“これまで積み重ねた実践をもとにこれからの施設のあり方を考える”

### 1. 趣旨

新型コロナウイルス感染の影響を受け、西日本児童養護施設セミナーは中止や延期となっていましたが、「京都大会」を開催することになりました。関係者が一堂に会し、交流を深める貴重な機会として、関係施設のみなさま方にご案内申し上げます。

私たち社会的養護に関わる者は、3年余りのコロナ感染拡大に伴う様々な影響を受けながらも、子どもたちの生活の保障に尽力してきました。

子どもたちと私たちを取り巻く状況の変化は加速度的です。18歳成人年齢の引き下げ、懲戒権に関する民法改正、子ども基本法の制定や児童福祉法の改正、さらには、子ども家庭庁の設置の動きなど、変化のスピードは著しいものがあります。

「新しい社会的養育ビジョン」は課題を有しながらも、具体化が推進されています。一方、全養協においては、「児童養護施設が担う機能と今後の展望・展開」が発出され、その深化が私たちの課題となっています。

今大会のテーマは、『温故知新』～故きを温ねて新しきを知る～としました。この間の経験や取り組みも視野に入れつつ、開催地である京都の特色である「伝統と革新」「実践と研究」をコンセプトに企画しています。

二日目の分科会は京都児童福祉施設実習教育連絡協議会（実習協）加盟の先生方の協力を得て実施いたします。また、三日目は京都ならではのプログラムを準備しました。京都の伝統と文化に触れることによって、参加者自身の自己啓発や気づき、また、リフレッシュとなる企画です。

京都での出会いと学びや交流が、子どもの最善の利益の保障と明日へのエネルギーにつながることを願っています。みなさんの積極的な参加をお待ちしております。

“ぜひ、京都におこしてください！！”

### 2. 主催

近畿児童養護施設協議会 中国地区児童養護施設協議会

四国ブロック児童養護施設協議会 九社連児童養護施設協議会

第18回西日本児童養護施設職員セミナー京都大会実行委員会

### 3. 後援（予定）

京都府 京都市 京都府社会福祉協議会 京都市社会福祉協議会

京都児童福祉施設実習教育連絡協議会 近畿地区児童家庭支援センター協議会

#### 4. 期 日

2023年9月12日（火）～14日（木）

#### 5. 参加対象

児童養護施設 乳児院 児童心理治療施設等の社会的養護関係者  
児童福祉関係者（大学関係等を含む） 等

#### 6. 参加人数

最大定員 650名（定員を超えた場合はお断りします）

#### 7. 参加費

12,000円（宿泊費及び交流会費は別途必要）

#### 8. 日 程

1日目 9月12日（火）				会場 ロームシアター京都/ホテルオークラ京都			
12:00	13:00	13:30	14:25	15:20	17:00	18:00	20:00
受付	開会式	行政 説明	基調報告	記念講演	休憩 移動	意見 交換会	

2日目 9月13日（水）		会場 同志社大学 良心館 2/3階	
9:00	9:30	16:30	
受付	分科会 (団士郎 漫画展 良心館 2階廊下)		

3日目 9月14日（木）		会場 京都市内 同志社大学 明德館	
8:30	11:30	13:00	
自主企画タイム (京都市内各所)		全体会 特別インタビュー 閉会式	

※ 3日間の詳細（予定）は再掲

#### 9. 申し込み方法

申し込み案内に従って、8月18日（金）までに各施設で取りまとめの上、名鉄観光サービス京都支店（WEB利用）にお申し込みください。分科会の参加については第一希望と第二希望を記入ください。申込状況により調整することがあります。後日、参加券と請求書を送付しますので、期日までに指定口座へお振込みください。

## 10. 個人情報の取扱いについて

参加申込書に記載された個人情報は本大会の運営管理に関する業務以外の目的に使用しません。

## 11. 問い合わせ先

(1) 参加・宿泊・交流会の申し込みに関すること

名鉄観光サービス京都支店（担当 金坂）

〒600-8492 京都市下京区四条通新町東入月鉾町 62 住友生命京都ビル 6 階

TEL 075-255-2211

FAX 075-255-8511

E-mail : mwt.kyoto.shukyo@gmail.com

(2) 大会の内容・運営に関する問い合わせ先

実行委員会事務局（つばさ園 石塚）

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町 51-28

TEL 075-381-3650

FAX 075-393-4316

E-mail : tsubasa@rondo.ocn.ne.jp

## 12. 会場へのアクセス

### 《1日目》ロームシアター京都（開会式 等）

■ 地下鉄東西線「東山」駅下車 1 番出口より徒歩約 10 分

JR 京都駅から地下鉄烏丸線「烏丸御池」駅下車 東西線乗り換え

京阪電車「三条」駅下車 地下鉄烏丸東西線に乗り換え

■ 市バス 32・46 系統「岡崎公園ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車すぐ

■ 市バス 5・86 系統「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車徒歩約 5 分

### 《1日目》ホテルオークラ京都（意見交換会）

■ ロームシアター京都から、貸し切りバスで移動約 10 分

■ 京都市営地下鉄東西線利用の場合 「東山」駅から「京都市役所前駅」直結

### 《2/3日目》同志社大学（分科会及び全体会/閉会式）

■ 京都地下鉄烏丸線 「今出川」駅から徒歩 1 分

京阪電車 「出町柳」駅から徒歩 15 分

京都市バス 「烏丸今出川」から徒歩 1 分

### **1 3. 1 日目/2 日目の昼食について**

#### **《1 日目》**

ロームシアター京都付近で食事が可能な場所は限られています。  
JR 京都駅などで昼食を済まされることをお勧めします。

#### **《2 日目》**

大学周辺には食堂などがありますが、昼食（弁当）の予約を受け付けています。

### **1 4. 荷物のお預かりについて**

プログラム実施時間中、ロームシアター京都及び同志社大学に設けるクローク  
スペースにおいて荷物をお預かりする予定です。

貴重品の保管は各自でお願いします。

○3日間（9月12日～14日）の予定

《1日目》 9月12日（火）

全体会（開会式 行政説明 基調報告 記念講演）

会場 ロームシアター京都「メインホール」

12：00～13：00 受付

13：00～13：30 開会式

開会あいさつ 近畿児童養護施設協議会 会長 河村 善一

来賓あいさつ 京都府（予定） 京都市（予定）

来賓紹介

主催者紹介

日程説明 等

13：30～14：15 行政説明 子ども家庭庁（調整中）

14：15～14：25 休憩

14：25～15：10 基調報告 全国児童養護施設協議会（調整中）

15：10～15：20 休憩

15：20～17：00 記念講演 テーマ『児童養護を漫画で語る』～木陰の物語より～

講師 家族心理臨床家 漫画家

団 士郎 氏 『仕事場D・A・N』主宰

17：00～18：00 休憩 意見交換会場へ移動（貸切バス利用）

意見交換会 会場 ホテルオークラ京都 「暁雲の間」

18：00～20：00 意見交換会

《2日目》 9月13日(水) 分科会 会場 同志社大学良心館 2階/3階

9:00～9:30 受付

9:30～16:30 分科会(途中 昼食休憩)

団士郎漫画展(良心館 2階廊下)

第1分科会

テーマ	『これからの施設のあり方を考える』
趣旨	<p>これまで、私たちは時代の変化に合わせ、子どもの最善の利益の保障に努めてきました。だからこそ、児童福祉法や民法改正は児童養護施設にとって大きな関心事です。</p> <p>特に、成年年齢が18歳に引き下げられたことによる混乱が生じている施設が少なくありません。施設運営においても課題を感じ、子どもと向き合う全ての職員も不安を抱えている現状が伺われます。</p> <p>これからの施設のあり方を考える際、改正された法の趣旨を十分に理解した上で、日常の暮らしや生活にいかに関局的に反映するかは私たちの新たな課題となっています。</p> <p>子どもの権利保障を主眼とし、日々の生活における関わりに活かせる気づきを得る機会とします。</p>
内容	<p>午前の副題は、「社会的養護における子どもの権利～当事者の語りから考える」です。当事者の語りから、入所時・入所中・退所後の子どもの状況を考えるシートを利用して、個人ワークやグループワークを実施します。参加者には、個人ワーク実施の準備として事前課題(資料通読を予定)の取り組みをお願いします(参加受付後連絡します)。</p> <p>午後の副題は、「子どもの意見表明と自立支援～18歳成年に関して～」がテーマです。施設での困りごとや都道府県での対応などの実践報告の後、講師からの講義を行います。18歳成年において変わったことによるリスクなどの確認と併せて変わらないことも改めて捉え直しを図ります。</p> <p>午前と午後を通して施設で暮らす子どもたちへの権利保障について理解を深めます。</p>
座長	迦陵園 施設長 若林里仁 氏 【京都市】
講師	佛教大学社会福祉学部社会福祉学科 准教授 長瀬正子 氏 都大路法律事務所 弁護士 安保千秋 氏
発題	岡山聖園子供の家 施設長 則武直美 氏 【岡山県】 愛媛慈恵会 次長 徳丸和行 氏 【愛媛県】
幹事	舞鶴学園 施設長 桑原位修 氏 【京都府】

## 第2分科会

テーマ	『施設を支える「職員」を支える』
趣旨	<p>「新しい社会的養育ビジョン」の発出を受けて、小規模化、高機能化、多機能化がキーワードとして語られています。しかし、養育や子どもの育ちについての養育現場を中心とした議論が不十分なまま、ハード面を中心とした取り組みが重要視されている状況が危惧されています。</p> <p>養育の現場では、地域に出せない子どもや対応困難児童の増加、職員/職場間のコミュニケーションの課題など、変化に伴う多様な課題に向き合うとともに、問題の複雑化が顕在化しています。一方で、これまでの現場の英知を基にした児童への対応や医療との連携、組織作りやデジタルの導入等、多様化した実践や新たなチャレンジも見られるところです。</p>
内容	<p>まずは、講師による話題提供により、社会的養育や社会的養護に関わる現状の理解を深めます。</p> <p>続いて、「子どもが安心できる生活の営み」や「ケアニーズの高い子どもへの対応」「支援機能の拡充」といった観点からの実践報告（現状と課題等も含む）の予定です。</p> <p>本体施設のあり方も視野に入れた、これからの施設が向き合う課題等について意見の交換を深める分科会を目指します。</p>
座長	てらす峰夢 施設長 櫛田啓 氏 【京都府】
講師	子どもの虹情報研修センター 研究部長 増沢 高 氏
発題	<p>てらす峰夢 児童指導員 谷本祐輝 氏 【京都府】</p> <p>神戸実業学院 児童指導員 倉成祥子 氏 【神戸市】</p> <p>児童家庭支援センター岸和田 主任心理士 渡辺葉一 氏 【大阪府】</p>
幹事	積慶園 施設長 古村正哉 氏 【京都市】

### 第3分科会

テーマ	『施設を支える「職員」の確保と育成』
趣旨	<p>人材の確保と育成は、各施設とも積極的に取り組んでいる古くて新しい課題です。近年は学生事情に沿った対応も求められており、各施設共通した課題となっています。</p> <p>本分科会は発表者を児童養護施設に限定していません。幅広く社会福祉施設の取り組みを知ること、その上で自身の気づきを深めること、自分たちの施設に話題として持ち帰ってもらうことの3つを主な目的としています。</p> <p>人材の確保も目的とした実習協とのコラボ企画である本分科会は、京都府市の関係施設からの報告がメインとなります。</p>
内容	<p>午前中は、心身障害者福祉センターの利用者のプラス面に着目した支援記録「にこりほっと」の取り組みについての報告と、京都大和の家の『改定 児童養護施設の研修体系 -人材育成のための指針-』を基に取り組み始めた「研修体制」についての報告を行います。</p> <p>午後は講師自らがファシリテーターを務めるグループワークからスタートします。午後の発題は、母子生活支援施設ヴェインテの「事例検討とSV」の取り組みについて報告を行います。</p>
座長	平安徳義会養護園 施設長 山下恭生 氏 【京都市】
講師	同志社大学社会学部社会福祉学科 教授 空閑浩人 氏
発題	<p>京都府社会福祉事業団 心身障害者福祉センター</p> <p>副主任 上村真弘 氏 【京都府】</p> <p>生活支援員 坂谷内啓子 氏</p> <p>京都大和の家 主任 三前有美 氏 【京都府】</p> <p>家庭支援専門相談員 中谷陽輔 氏</p> <p>母子生活支援施設 ヴェインテ</p> <p>主任 高田千枝子 氏 【京都市】</p>
幹事	京都大和の家 施設長 岡本直彦 氏 【京都府】



## 第4分科会

テーマ	『生活を支える：入所中の取り組み』
趣旨	<p>これまでから、子どもの人生/生活を辿るといった子どもに寄り添った取り組みは、各施設において実践されています。</p> <p>近年では、「ライフストーリーワーク」の手法を活用して、子どもの人生の辿り直しを実践している施設も少なくありません。</p> <p>この分科会では、「子どもたちの知る権利を保障する取り組み」としての観点から、「ライフストーリーワーク」の活用に焦点をあてます。</p>
内容	<p>午前の講義により「ライフストーリーワーク」の考え方や手法を学びます。その後、ケアリーバーからの体験報告により生の声を聴く予定です。</p> <p>午後は実施施設からの体験や報告とグループ討議により、「子どもたちの知る権利を保障する」観点から今後の活用や展開について考えていきます。</p>
座長	京都府社会福祉事業団本部事務局 業務指導推進役 岩本俊也 氏 【京都市】
講師	ライフストーリーワーク相談室 才村眞理 氏
発題	<p>ケアリーバー あらいちえ 氏</p> <p>乳児院吉水寮 心理士 杉本佳子 氏 【沖縄県】</p> <p>大和育成園 心理士 岡村悠里 氏 【奈良県】</p> <p>入舟寮 心理士 中野紗樹 氏 【大阪市】</p>
幹事	和敬学園 施設長 松原宏融 氏 【京都市】



## 第6分科会

テーマ	『コロナ禍で子どもや職員をいかに支えたか？』
趣旨	<p>新型コロナウイルス感染はさまざまな面で大きな影響を与えました。この3年あまりは予想もしなかった出来事の連続であったかもしれませんが。子どもの養育や生活支援をメインにしている私たちは、マスク着用や対面が制限されたことによるしんどさを抱えることになりました。子どもや職員とのコミュニケーションは新たな課題となりました。</p> <p>今後、直面するかもしれないリスク対応の中で、参考となる点や応用ができることなどを考える機会とともに、職員の自信喪失を防ぎ、職員が児童養護施設で働き続けよう、頑張ろうと思える機会とします。</p>
内容	<p>午前は、現場からの報告が中心です。コロナ禍の中で、子どもが抱えていた困りごと、職員の戸惑いやしんどさなどの職員が抱えていた困りごとなどの報告です。その後、発題者と講師による対談の予定です。どのように対応（工夫）し、どのように乗り越えたかといった問題解決に向けた動きの共有も目指します。</p> <p>午後は、まず、講師による講義（助言）によって正しい知識について学び、次に、グループ・ワークにより、多くの施設で深められた知恵の結晶であるさまざまな実践を聴き取って、参加者同士の共有と共感を大切にします。</p>
座長	青葉学園 施設長 西山明美 氏 【京都府】
講師	立命館大学産業社会学部現代社会学科 教授 石田賀奈子 氏 全国乳児福祉協議会副会長・小児科医 大和謙二 氏
発題	<p>乳児院積慶園 看護師 菅家由紀子 氏 【京都市】</p> <p>小鳩の家 施設長 山田宗寛 氏 【滋賀県】 専門員（主任） 柘田亮平 氏 看護師 小川りか 氏</p> <p>聖家族の家 看護師 伊藤みどり 氏 【大阪市】 主任保育士 本村有佳梨 氏</p>
幹事	平安養育院 施設長 水野正美 氏 【京都市】

## 講座

テーマ	『中途養育の里親支援を考える』
趣旨	<p>里親委託が推進される中、里親と子ども（里子）との関係悪化によって里親委託解除に至ったケースが、2020年度には委託解除ケース中の18%（275人）とされています。（読売新聞デジタル2022年2月24日）</p> <p>中途養育に限らず、小学校中高学年以降に入所措置や里親委託された児童はさまざまな行動を表出しても不思議ではありません。養育者はさまざまな出来事に遭遇することになります。一般家庭でも同様の状況が生まれます。</p> <p>養育者が子どもの対応に困った際、頼れる存在や支援のあり方は問題解決に大きな影響を与えることになります。家族の問題解決力を育てる新たな里親支援のあり方を提言する機会として企画しました。</p>
論点 (内容)	<p>里親家庭の支援においては、家族全体を捉える視点が不可欠です。しかし家族全体の理解の上で、支援を提供するといったまなごしは不十分な状況です。</p> <p>午前は元里親からの報告と講義、午後は里親を兼ねている支援員からの報告と講義を予定しています。講義は、家族支援を考える上で参考となる家族療法の考え方をベースにした家族の構造や発達、変化などについて学びます。なお、参加者同士の交流も実施予定です。</p> <p>本講座を通して、ステップファミリーなどの義理の親子/家族関係とは異なる里親家族への支援を考える機会としますが、里親支援専門相談員だけでなく、家庭支援専門相談員（FSW）や児童家庭支援センターの相談担当者の参加も大歓迎です。</p>
座長	山城子ども家庭センターだいわ センター長 早樫一男 氏 【京都府】
講師	同志社大学心理学部/心理学研究科 教授 興津真理子 氏 京都光華女子大学健康科学部医療福祉学科 講師 千葉 晃央 氏
発題	家族関係支援・相談支援 憩都（いと）主宰 元里親 坂口伊都 氏 【京都府】 福岡市子ども家庭支援センター「SOS子どもの村」 統括相談支援員・里親 橋本愛美 氏 【福岡市】

《3日目》 9月14日(木) 会場 京都市内 同志社大学明德館2階

8:30~11:00 自主企画(京都市内各所)

テーマ	『京都の街で自己啓発を!』
趣旨	<p>本セミナー参加者自身が京都の伝統や文化と交流する機会を自主的に企画します。全体会/閉会式に向かう「寄り道」としての約2時間を有意義に使える機会です。自己啓発や癒しの時間としてどのように生かすかは参加者の企画次第です。</p> <p>おすすめコースや特別設定コース(人数限定 事前申込制)を参考に新たな自己発見やリフレッシュタイムとしてください。</p> <p>(いずれのおすすめコースも全体会会場の同志社大学に移動する場合、公共交通機関利用なら約30分程度です)</p>
おすすめコース(内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同志社大学より東コース 「下鴨神社」 「銀閣寺と哲学の道」 「平安神宮と京都市京セラ美術館」 「八坂神社と知恩院」</li> <li>・同志社大学より西コース 「北野天満宮」 「西陣織会館と晴明神社」 「二条城」</li> <li>・同志社大学より南コース 「京都国際マンガミュージアム」 「京都万華鏡ミュージアム」</li> <li>・同志社大学より北コース 「京都府立植物園」</li> <li>・同志社大学近辺 「相国寺と相国寺承天閣美術館」 「京都御所散策」</li> </ul>
特別設定コース	<p>事前申込制(別紙 名鉄観光の大会参加案内参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・座禅体験 勝林寺(予定)</li> <li>・写経体験 勝林寺、建仁寺(予定)</li> <li>・二階建てオープンバスでぐるっと京都市内1周コース 「西本願寺」「二条城」「知恩院三門」「京都タワー」など</li> </ul>

11:00~11:30 受付

11:30~12:30 **【特別インタビュー】『故きを温ねて新しきを知り、考える』**  
**～新たな一歩を踏み出そう～**

話し手: 舞鶴学園統括施設長 桑原教修 氏

12:30~13:00 三日間の振り返り(報告)

次期開催ブロック挨拶

中国ブロック(中国地区児童養護施設協議会会長

上栗哲男氏

閉会挨拶 西日本児童養護施設職員セミナー京都大会実行委員長

早樫一男